NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を通じて、現代社会を考える

2．学校名

鹿児島県立加治木工業高等学校

3．実践者名（代表者名）

塩満 洋一郎

4．学年

第2学年（建築科・工業化学科）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会　78人（2学科含む）

6．単元（本時の学習課題）名

日本国憲法と基本的人権

7．目標(狙い)

「赤ちゃんポスト」に関しての知識を身につけ、かつポストを利用した人々の心情を考える。人権保障の観点から、今後のポストの在り方について考える。

8．評価の視点

単純にポストの設置に「賛成」「反対」を述べるのではなく、明確な理由や考え得る子育ての在り方まで等を具体的に述べることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

基本的人権の保障（1）2時間
基本的人権の保障（2）2時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①平等権について、理解を深める。（1時間）
②自由権について、理解を深める。（1時間）
③社会権（生存権・教育を受ける権利）について、理解を深める。（1時間）
④社会権（勤労権・労働基本権）・その他の権利について、理解を深める。（1時間）

（留意点）
・中学時代に学んだ事項について、喚起を促す。
・更に、理解を深めるよう諸事象を紹介する。
・特に、「生存権」にからめて「赤ちゃんポスト」の記事を授業に取り入れる。
・ワークシートに沿って、作業を進める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「赤ちゃんポスト」に関して、生徒は否定的な感想が大半であった。親の立場もしくは子供の立場でそれぞれ意見を述べていた。また、文章等も簡潔な文章ではなく、深く考え述べた文章がほとんどであった。

12．成果と課題

「考える」ことを中心にNIEを実践してきた。上記に紹介した授業のみでなく、授業との関連性がなくても、タイムリーと思える記事はすぐに記事を配布し読ませるように心がけた。生徒は、このNIEの取り組みを通じて「新聞を読む姿勢」「読み込む姿勢」「考える姿勢」が備わってきたように感じる。